

令和6年第4回臨時教育委員会会議録

1 開催日時 令和6年3月28日(木) 午後3時00分から午後5時00分

2 場 所 文化センター3階ホール

3 出席委員

教育長	竹内 延彦
教育長職務代理者	黒岩 博之
教育委員	堀米 ひろみ
教育委員	山本 均
教育委員	野竹 重範

4 会議に出席した事務局職員

教育次長	田中 浩幸
学校教育係長	坂口 俊明
中央公民館長	小林 広行
中央公民館長補佐	新井 孝宜
指導主事	小林 妙子

傍聴者 15名

5 開会

(次長)

臨時会という形で開催する。公開で会議を行う

竹内教育長から一言ご挨拶いただく。

(教育長)

昨日の町長との総合教育会議を踏まえ、小学校統合について教育委員会としての今年度最終の方針を決定するための臨時会として開く。事務局で昨日の会議を踏まえて提案資料と作成したので後で説明する。協議事項に入る。

協議事項(1) 小学校統合の方針について

(教育長)

昨日の話を踏まえて整理した資料に基づいてご意見をいただき、審議を進めていく。

現場の校長先生から頂いた統合までにかかる一般的なスケジュールに関する資料もある。また、小学校施設における過去5年間の経費についての参考資料もある。

町長が言った主なものを4点に整理した。

- 統合小学校の開校時期は令和9年4月にしてほしい。
- ハードからソフトへ積極投資の方針に基づき、統合小学校の施設整備経費は極力抑えたい。

●町長がお示しになった町づくりビジョンに基づき、統合小学校は西小学校の施設を活用してほしい。

●将来的に中学校も西部地区に移転させ小学校と併設する可能性はある。

次に教育委員の主張として同じく4点に整理した。

○従来の中学校併設プランには多くの町民が合意しているので、取り下げることはい。

○町長の町づくりビジョンについて、町部局並びに議会と合意形成を図ってほしい。

○西小学校活用プランと従来の中学校併設プランの2案について、改めて民意を問いたい。

○統合小学校の設置場所に関わらず、将来的な小中併設一貫校の実現を目指す。

続いて、総合教育会議での議論を踏まえた町長と教育委員の一致した部分を4点に整理した。

①3小学校を1校統合する。

②統合はできるだけ早く実現する。

③設置場所は町民の合意を踏まえて教育委員会が決定する

④将来的に統合小学校と中学校が併設される可能性はある。

このまとめについて意見はあるか。

(委員)

③の町民の合意を踏まえてという点について、当然この作業は必要になる。

当初、今年度中に決定すると言っていたが、今年度中に町民の合意を踏まえて決定するのはできないと思うが。

(教育長)

物理的なことも含めて両者それぞれの考えがあり、設置場所の決定は今年度内にできないという考えに基づいてこのような表現にした。アンケートもあるが、それ以外の方法も含め4月以降にやり方を考え、改めて町民の合意を得る作業が必要ということを踏まえてこの表現になっている。

(委員)

アンケート以外の方法はどんなものがあるか。

(教育長)

具体的にアイデアがあるわけではないが、昨日アンケートというアイデアが出たので、そのような表現にしている。もしご意見があればいただきたいと思う。

(委員)

アンケートは1つの指標になると思うが、行うには十分な検討材料を住民に示す必要がある。今までも統合に向けて懇談会をたくさんやってきたが、それよりも突っ込んだ内容で、例えば費用や通学について想定される問題等をシミュレートした上で、洗いざらい示して整合性を取らなくてはならない。そうなる現実的かどうかという説明資料を作る必要がある。それを4月以降早急に進めないと来年度中に場所を決めるのは難しいと思う。

(教育長)

大事なご指摘だと思う。昨日の総合教育会議で初めて町長のビジョンを示されたので、西小学校を活用したプランも細かな部分まで資料を作り込んで、従来の中学校併設案と同レベルの情報量を用意した上で、町民に示さない限り判断は難しいと思う。両方の案を客観的に示すことができる資料の作成が必要。その上で、しかるべき方法で町民のご意見を改めて伺う作業をしてはどうかというのが事務局としての考え。

(委員)

町長の説明だと、小学校の統合と設置場所の話は切り離して考えてほしいという話だった。早急に建物の検討なしで統合させた方がいいのか、それともある程度の建物を整備してから統合した方がいいのかという段階的なアンケートを取った方がいいのではと思うが。

(教育長)

3小学校を1校に統合するのは町長と教育委員会が一致していることを前提にすれば、統合はもう決定事項という理解で進めることもできるのではと思う。教育委員会としては、中学校併設という結論を出しており、そこに町長が町づくりビジョンの観点から西小活用案も出されたので、どちらかという選択になるのではと考えている。

(委員)

統合についての賛成反対ではなく、最低限のコストでほぼ現状の状態ですべてスタートするのでいいのか、確認した方がいいのでは。

(教育長)

とりあえず入るだけでいいのか、しっかり改修した上で入りたいのか確認が必要。また教育委員会として1番重視していた小中連携というポイントがあるので、西小という方針で進む場合も、将来的に中学校も移転させて小中連携を目指す方針を示すのかでアンケートの取り方も変わる。とりあえず西小にという点だけでいいのか悪いか聞かれると答えも不十分かと思う。

(委員)

補助金を活用し大規模改修した場合、何年か規制により改修できなくなる。そこに中学校を併設すると現存校舎の改修ができなくなり、アンバランスになる気がする。町長が何年後に

中学併設を考えているのかによって、大規模改修はしない方がいいかもしれないし、大規模改修しても大丈夫なほど先の話なのかの確認は取らないといけない。

(教育長)

どの程度の改修が必要かという確認は必要。また大規模改修するとなると国の補助金を使うが、補助金を使って改修をすると用途の縛りが20年間出る。中長期的な計画を立てる必要もあるかと思う。

(委員)

町長は早急に統合したいと強調されていて、山中の敷地はなくなったということでよいか。

(教育長)

町長は中学校の敷地併設は認めないとはっきりと言った。

(委員)

アンケートの取り方について色々議論されていたが、練らなくてはならないし、統合に向けての準備段階で何をしなくてはいけないのか考えなくてはならない。この資料では令和6年の上半期に議会、町民の合意形成をと書いてあるが、町長の考えが議会答弁や広報に出ているので、関心のある人はもう決まったのかと思っているので、何のためにアンケート取るのかなども含め慎重に議論しなくてはならないと思う。

(教育長)

中学校併設プランは多くの町民の合意の結果であるということで、教育委員会として取り下げるという発言は昨日の会議ではなかったと理解している。取り下げるのであれば西小の方向で進むと決まってしまうと思うが、そこを教育委員会としてどんな判断になるかによって、今後の方向性は変わると思う。

3月の準備委員会で、教育委員会に対し従来の案を堅持してほしいと意見をいただいたことも踏まえて、現段階で従来案を取り下げることなく最終的な結論をどう出すか。

(委員)

町長は山中敷地ならハンコを押さないと言っている。もしアンケートをやるのであれば町民全員への町長の姿勢を問うぐらいの意味合いになってしまう気がする。我々が選んだ町長が山中敷地では決裁しないと明言した。その上で、比較検討しアンケートを取ってもその結果で、町長が思い留まるとは思わない。

(教育長)

教育委員会が行うアンケートは、あくまで教育委員会の事業に関して問うところまでだと思う。町長が行っていることについて、どう思うかというのは我々の立場ではできないと思う。

あくまで山中併設と、今回示された西小案の情報量を揃え客観的に示した上で、アンケートで問うということ。町長と教育委員会のどちらがいいかという聞き方にはならないと思う。

(委員)

とりあえず統合して、設置場所などの決定は追々ということでもいいのか。

(教育長)

教育委員会として方針を出す場合に、とりあえずの統合という結論は出せない。無責任な言い方になってしまうので、とりあえずの統合ではなく、例えば2段階で統合を進めるという言い方をする。1段階目は西小学校に3校を必要最低限のコストで統合し、将来的に小中連携の一体的な学校作りを見据えて計画を作ると言わないと、とりあえず統合するというのでは今日は終われないと思う。

(委員)

設置場所を決める上で町長は教育委員会が決定していいと言ったが、この状況で中学校併設という決定はできないため、設置場所の決定は年度を超える。ただその際にもう1回説明を尽くす。その上で決定したいという方針を今日出すかどうか。今日、最終的に基本方針についていくつか項目が出ると思う。まず3小学校を1校に統合することは皆さん合意しているので決定事項の方針として出せる。

次に、開校の目標年度についても方針を出せるのではないかと。ただ、場所は引き続き検討しつつ、いつまでに決定するかを方針として出す必要があると事務局として考えている。町長と教育委員会の合意点について、将来的に統合小学校と中学校も併設される可能性はあると言及していただいたので、可能性が残されていると理解し、そこに向かってどうロードマップを作っていくかになる。合意点の4点については、昨日の会議で確認することができたがこの点についてはよいか。

それを踏まえて、教育委員会としての学校統合に向けた基本方針の案をまとめた。

- ① 3小学校を1校に統合する。
- ② 町長が示した「まちづくりビジョン」について、町部局並びに議会における合意形成を求める。
- ③ ②の進捗を確認しつつ、統合小学校の開校時期の目標を最短で令和9年4月とする。
- ④ 開校時期は町校長会と教育委員会で協議の上、令和6年度中に最終決定する。
- ⑤ ④の最終決定に基づき3小学校の閉校年度を決定する。
- ⑥ ③～⑤の協議と並行して、3小学校閉校に向けた作業計画を令和6年度より作成し始める。
- ⑦ 統合小学校の設置場所は中学校敷地と西小学校敷地の2候補地とし、あらためて民意を問う。
- ⑧ ⑦の結果に基づき、統合小学校の設置場所を令和6年度中に最終決定する。

- ⑨ ⑧の決定を受け、長寿命化の是非を踏まえた施設整備経費他、統合事業に係る予算要求を行う。
- ⑩ ⑨までの進捗を確認しつつ小中併設一貫の学校の在り方を検討し、「小中併設一貫校」と「義務教育学校」のいずれかに方針を定める。
- ⑪ ⑩の開校年度については、④の決定を踏まえ令和6年度中に目標年度を示す。
- ⑫ 以上を計画的に推進するため「山ノ内町立学校統合整備計画」（仮称）を令和7年度中に策定する。
- ⑬ ⑫の策定計画のため「山ノ内町立学校統合整備計画検討委員会」（仮称）を令和6年度中に設置する。

以上のような段階を計画的に推進するために、山ノ内町立学校統合整備計画を令和7年途中ぐらいには作らないと間に合わないのでは。計画を策定するための検討委員会を改めて令和6年度に設置をすることを方針として明らかにすることも必要と考えた。

統合することと設置場所は、切り分けて考えてほしいという町長の発言を踏まえ、まずスケジュール的なゴールとして令和9年4月を最短目標とすることを教育委員会の方針として出してはどうか。その後で、令和6年度中に場所を決めることを今日の方針として出す。場所を決める上で、教育委員会として従来大事にしてきた小中連携を方針として残すのであれば、西小学校になった場合を想定して計画に入れていく必要があるという考えである。

(委員)

⑫⑬の表記について、小学校の小がいるのではないか。

(教育長)

今までは小学校の統合に絞った計画だったが、改めて小中連携を強く意識するということも踏まえあえて小を除いた。仮称なので名前は変えられる。

(委員)

この基本方針案が現時点で望めると思うところが、丁寧に説明する必要はある。今まで準備委員会などで議論するなか、別の場所だと色々な問題点があるということで中学校敷地という結論が出ていた。改めて西小学校となった時に、我々も建設的に考えた方がいいと思う。

(教育長)

教育委員会として、大事にしてきたことを諦めなくてもいいようなプランを考えていく前向きな方針を出すことも必要。最終的に我々が目指すのは小中連携の学校作りとし、方針に残すとした上で、場所については6年度中に決めるという方針を今日の結論とするという説明。

(委員)

町長と教育委員会の考え方が一致していないところがあるのは事実だが、どちらにしても町民がワクワクできるものを示さなきゃいけないと思う。大変な作業になると思うが、丁寧に進

めていくことが最短かなと思う。子どもたちにとって、また先生方にとってより良い教育環境
っていうのを考えていかないと思う。

(教育長)

町長の考えと同じ方向の部分もあると思う。町長も兼ねてから場所よりも教育の中身とずっ
と言っていた。我々も場所を最終的に決める段階でワクワクする考えを深める作業は必要。い
つまでに統合するかある程度、明確にスケジュールを絞り、間に合うよう最大限努力して場所
を令和6年度中に決定するということが今日の方針としたらどうか。

(委員)

仮に西小学校に作るとして、用地買収せず学校敷地に増設するということが、どこに増築
するのかと考える。本当に外から人を呼び込めるようなところが西小敷地内にできるのかと思
う。

(教育長)

お金をかけられないからワクワクするような学校作りができないわけでもないと思う。繰り返
しになるが、小中連携という今までの方針を大事にするという点で、将来的にその可能性を
大事にしていく意思表示はしてもいいのでは。条件が示されている中で、魅力ある統合プラン
を今後どう進めるか、今日は確認できたと思っているがいかがか。

(委員)

まとめのような話だったが、できれば中学併設プランについて、予算を下げる等、再度練り
直してはどうか。方針転換したソフト面に関してはあくまで案とのことで、西小でなければで
きないわけではない。

(委員)

中学校敷地だと湯田中駅に近く、ESD教育等でメリットを感じる。西小だとまた違う魅力
を作らなければいけないと感じる。

(委員)

湯田中駅が近いメリットは絶対にある。中学敷地で予算を下げる方法もあると思う。西小に
しても通学路などの問題点を拾い上げる必要があるが、この日程では厳しいと感じる。合意形
成や場所の決定は6年度中には厳しいのでは。

(教育長)

実際にどのぐらいの時間が必要かは本当に難しいところ。昨日の町長の話は、町づくりと相
当深くリンクしていた。今まで、教育委員会では町づくりの観点をさほど持たずに議論がされ
てきたが、整理したり深めたりする作業はどうしても必要だと思う。最短で令和9年4月の開

校を目指すということを教育委員会としても合意する形で、方針に乗せてはどうかというのが今日の趣旨である。

(委員)

西小には西小の魅力が確かにあると思う。我々も徹底的に調べ上げる必要がある。心配なのは例えば通学路。様々な問題点を拾い上げ説明しないといけない。

(教育長)

メリット、デメリットを客観的に示した上で、最終場所を決めた方がより多くの町民の合意は得やすいと思うので、最低でも1年かけ令和6年度中に決定することを方針と示すのはどうかという提案。

(委員)

私達も西小を想定し練り直していく。駅や国道の関係もあり、色んな方面に協力してもらう必要もある。西小案を練り直してから地域住民に説明し、合意形成を得ていくという方法でいいのか。

(教育長)

イメージとしてはそのようなイメージ。

(次長)

統合準備委員会は中学敷地への統合に向け、内容をブラッシュアップしていくのが役割だった。西小学校へシフトするならば、一旦仕切り直しをしなければいけないかと思う。また適正規模適正配置基本方針も変えなければいけない。アンケートを実施するならば、細かい部分を練らなくてはならないし時間もかかる。

開校の目標は令和9年4月でいいのか、設置場所は6年度中に決めていくのでいいのか、そして将来的には小中一貫を目指していくことを方針として決定していただきたいと思う。

(教育長)

中学校案を取り下げるのではなく、西小についてももしっかり検討していくという方針を固めるという理解でいいのか。

(次長)

既存小学校は東・南もあるが、検討するのは町長が提案した西小でいいのかということ。

(教育長)

これまでの議論の中で東、南も検討され中学敷地とまとまったので、ここまでの議論の流れを踏まえて西小と中学校の2案に絞って最終決定するというところでどうか。

(委員)

この話をすれば東小にしてくれ、統合しなくていいという意見も聞こえてくると思う。ただ1番大事な子どもたちの教育環境の拡充をしていかなければならない。町長が昨日、町づくりに係るゾーニングの話までされた。それも踏まえて考えるのであれば、2案で話を進めていくべきかと思う。これ以上、混乱させて遅くなるのは良くない。

確認だが、この場は教育委員会ということで、元総務課長である公民館長に意見を求めたい。我々は行政のプロではない。教育行政に関しては一生懸命考えているが、事務的な進め方で何かいいプランがあれば伺いたい。

(公民館長)

具体的な考えは全く持っていないが、いろんな形で住民の合意形成を図り、中学校敷地に決定してきた経過は知っている。西小という話が出てきたので、その両方を検討するのは当然必要だと思う。町長の言っていることを無視するわけにいかない。

そうなる話の持っていく方として、まず住民に説明できる資料を用意するのが1番。ソフト部分、あるいはハード部分も含めたものをある程度、具体的に示さないと判断材料としては難しいかと思う。

総務課の時に公共施設整備計画というものを作ったが、建設から20年で改修、40年で大規模改修、60年で改修、80年で廃止というもの。西小案は、素晴らしいしお金がかからないとのことだが、西小はすでに大規模改修の時期に来ている。大規模改修は中学校で行っており27億円程度かかっている。それをやっても20年後に改修し、40年後には廃止。そうすると建設コストを考えて、例えば40年後を考えた時にどちらが有利なのか検討しなくてはいけないと思う。一時的にお金はかからないが、長期的に見たらそちらの方がコスト高ということもあるので十分検討しなくてはいけないのではないかな。特にお金の話は慎重にしなければ。

(委員)

イニシャルコストに目が行きがちだが、ランニングコストも検討し、それを分かりやすく示して、中身もワクワクできるようなプランを示せば判断材料になるということでした。元校長の教育指導主事はいかがか。

(教育委員会指導主事)

2点確認をする。中学か西小学校かという言い方だが、イコール新築か既存校舎活用かという捉えでよいか。以前から関わっていた立場からすると、新しくスタートする小学校の新築校舎にこんな夢を盛り込みたいというワクワクでずっと話し合いをしてきた。ただそれについて中身がないと言われた。私たちは子どもたちの立場に立ってずっとワクワクする夢の学校を描きながら、新築の校舎でオープンスペースやICTの設備、地域の人と関わられるようなスペースを作った校舎を作りたいとずっと言ってきた。単純に中学か西小かという位置だけの問題ではないと思う。新築なのか既存校舎を手直しして使うのかが、大きな変更点だということを確認する時に考えてもらいたい。

もう1つ、今まで位置が決まらないう開校年度がはっきり示せないと言っていたのは、中学敷地に新築の校舎を建てるとしたら最低でも令和10年になってしまうというスケジュールがあったから。これから来年度スタートしたらさらに令和11年になってしまう。目標を令和9年にすると、新築の校舎を建ててを事実取り下げってしまうと取られてしまう恐れもある。

令和9年4月と言った時点で中学校の新築は実質無理だと思われるのではないと心配。

(教育長)

中学校プランは給食センターを含め新築という点が前提の案なので、新築ということが1つの柱であることは間違いのないと思う。おっしゃる通り令和9年4月と区切った時点で物理的に間に合わないということはある。そうすると西小しかないという話になるが、例えば、現場の先生の意見から閉校するのにも時間がかかると聞いているので、それも含めて令和9年4月というのは限りなく厳しい方針と言わざるを得ない。

ただ、町長から指針も出ているので、基本方針案の中に書かせていただいたということ。方針について、修正含めご意見があればいただきたい。

(委員)

山中と西小だけの案でいいということ、ここで決めてしまっているものか。

(教育長)

今までの議論で中学校に併設と絞られているので、我々が東や南も選択肢に入れることが少し無理があると思う。西小を中学と対等に検討するのは、町長の方針で出されたからという理由でよいと思う。

(委員)

町長は、この町のビジョンを語る資格を持っているので、それに基づいて我々も検討すべき。先ほど公民館長が言った40年先の費用対効果についても示さなければいけないと思う。

(教育長)

どちらの案も公平に評価できるようなものを作る努力をする。どちらになっても子どもや保護者、地域の人々が安心できるような決定をすることが、教育委員会として与えられた責任。

(委員)

西小に係る統合準備委員会の設置について、同じ委員にそのまま検討し直していただく形でいけるのか。

(教育長)

中学校併設を前提として設置されたので一旦区切りは必要だと思う。ただ、メンバー構成は引き続き同じ規模になるかもしれないが、中学校だけでなく西小も踏まえた中身の検討になる

ので趣旨が広がると思う。いずれにしても事務局だけで決めるわけではないので、検討委員会を新たに設置する必要はある。

(委員)

西小も同じステージに上げてから住民説明やアンケートという方向にするために、今後、委員会の設置はどう進んでいくのか。

(教育長)

まず今日何かしら方針を決め、今年度の準備委員の皆様にも説明する必要があると思う。これまでの議論を支えていただいた統合準備委員会に対し、今回の方針を説明するのが第一歩だと思う。

もう一度確認をさせていただく。今日の段階で、教育委員会の基本方針として承認いただくものとして4点。

- ① 3小学校を1校に統合する。
- ② 統合小学校の開校時期の目標を最短で令和9年4月とする。
- ③ 統合小学校の設置場所は令和6年度中に決定する。
- ④ 将来的に小中併設一貫の学校の実現を目指す。

趣旨としては、この4点に絞ったものを今日の決定事項、統合に関する基本方針として決定するというだけでいいか。令和9年4月を目指し、それに向けて各小学校の閉校に向けた準備をお願いする。場所は遅くとも令和6年度中に西小か中学校のどちらかで決定をする。必要な資料をしっかりと作り込み説明も行う。そのうえで町民の合意がいただける案に決定をする。西小に決まったとしても、将来的には施設一体型の小中連携の実現を教育委員会としては目指すということの方針として残す。大きくまとめさせていただいた方がいいか。

(委員)

万博や東京オリンピックでもそうだが、資材の高騰もあって時間が伸びるのは目に見える。

(教育長)

かなりタイトであることは事実だと思う。コロナのような予期しない事態が起こって令和9年4月が守れないということはないだろうが、今日のところでは昨日の話を踏まえて期限を切るということの方針として出したらどうかということ。

(委員)

共有資料では令和10年4月開校になっているが。

(教育長)

これは現場の先生の意見から参考資料として出したもの。一般的にはこれぐらい必要と理解いただければと思う。令和9年は昨日、町長から出されたスケジュール感で示した。

(委員)

現場の校長先生たちが出した令和10年というのがあるのに、校長先生たちに納得してもらえるのか。

(教育長)

今日の基本方針案の中に書いたが、令和9年4月という目標を立てるが、最終的には現場の校長と協議をして決めるということも入れてあるので、しっかり確認をして最終判断をしたいとは思っている。

(委員)

子どもたちのことを考えたら早い方がいい。それは間違いないと思うので、ここで目標と書いてあるのでそれは整合性が取れるかと思う。我々としては、子どもたちの学習環境、先生方にとってより良い教育環境を早く実現してあげたいということは掲げるべき。

(教育長)

最終的な文言は改めて確認してもらうが、趣旨としてこの4点に整理したものを基本方針とするということでよろしいか。(一同同意)

それでは、その方針で教育委員会は関係者に説明したうえで、必要な作業を進めていこうと思う。

(2) 方針決定内容の公表について

(教育長)

明日以降、正式な文書として、準備委員会や町長、議会等に通知をする。できるだけ広く町民の方、保護者の方に直接届けられるよう基本方針や今後のステップの周知を考えているがよろしいか。具体的な周知の方法はその都度ご案内する。

もう1つ、今日の資料に教育委員会として、ソフト事業推進の基本方針というものも提案として入れた。これは2月末に町長がハードからソフトへという方針転換をされたことに基づいて、ソフト事業にもしっかり予算を講じて強化をしていくということ。具体的な中身の検討を令和6年度より進めていくため、検討会議のようなものを設置し、教育委員会として必要なソフト事業を協議し予算要求していくという点を、基本方針に補足として入れさせていただいた。そのような形で進めてよいか。

(委員)

検討会議の構成員は。

(教育長)

構成員は考えてないが、校長先生、教育委員は欠かせない。あとは保護者や地域の方。あまり大所帯にしたいくないが、ソフト事業イコール中身の話なので多くの方に関わってほしい。

去年4月からスタートしている子ども基本法で、子どもに関わる政策には必ず子どもの意見を反映させなければならないという法律の規定もあるので、ワクワクするようなカリキュラム、プログラムを検討する上で、中学生や場合によっては小学生にも参加してもらう必要性はあると思っている。何かしらそのような会議体を設置するという方針で、早急にメンバー構成を考えようと思っている。

(委員)

統合にかかる検討委員会の傘下に入る部分ではないものか。

(教育長)

統合に絡まない。統合後のことではなく、いわゆる今の子どもたちの教育の中身に直接関わっているので統合とは分けて議論した方がいいかと。ソフト事業の推進は、そのような方向性で進めたいと思う。

(次長)

全体通じてその他なにかあるか。

それでは、大変長時間にわたっての審議ありがとうございました。本日の教育委員会臨時会はこれにて終了とする。